

A 杉本経済課長

① 地図情報のデータを円滑に使用するための必要なシステム改修である。

② 水稲関係で労働力の削減や農業所得の向上を図るため直播等の実証試験や大豆・小麦の輪作体系も含めた中で一体的に試験・データを取る物で、大塚・富里・沖内地区の圃場で実施する。また、JAの負担もある。

③ 本郷地区の旧道有林苗畑内の370mくらいの農道整備である。ハザードマップは地震等に対応した整備をしていくか、調査義務があり、国の全額支援を受けて実施する。

④ 農道整備特別対策事業費は、沖内ダムに通じる幌沖内道路の改修で、事業主体は道で5か年計画で整備するための地元自治体の負担金である。

⑤ 都市農村交流施設の再構築に向け、国の支援事業等を組入れ魅力ある施設として利用体系を検討し素案を策定した中で今後どうするか考えを詰めていく。

ていく。

A 関町長

今後の利活用で国の制度を活用した取り組みについて試行的に進めて行くと考えていますのでもう少し見守っていただきたい。

Q 西委員

経営所得安定対策等推進事業補助金の内容は。

A 杉本経済課長

作物の転作に伴う転作事務の補助金である。

Q 山内委員



① 産業まつり補助金の額と内容について伺う。

② 町営元浜牧場工事内容

について伺う。

A 杉本経済課長

① 牛肉の価格高値により繰越金が少なくなり、産業まつり会計としては、開催に影響も受け難い状況が予想されることから300万円の補助金を頂き円滑に進めたい。

② 爆弾低気圧による堆肥舎の屋根、牛舎の屋根の工事費で、一部保険対応である。

■ 商工費（歳出）

Q 酒谷委員

① 商工業振興事業補助金の増額の要因は。

② 観光振興プロジェクト委託料の内容について伺う。

③ ゆったりかんの備品購入費の内容について伺う。

A 杉本経済課長

① 増額の要因は、人件費が主で、道費を除いた全額について2項目、3項目に関して助成・支援を

する。プレミアム商品券の助成は詳細が決定後に助成を考える。

② 平成29年度取組みの事業をベースに引き続き商品化に向けた体験観光を検討し、売れる体制づくりを進めるものである。

A 木村経済課長補佐

③ ゆったりかんの自動販売機・券売機・両替機・カラオケ機器・ホテル業務システム等の更新、購入に係る予算である。

Q 西委員

ゆったりかんホテルシステム購入について伺う。

A 木村経済課長補佐

システムの中身は、ポスシステムとフロントシステムをメインで操作し券売機との連動、宿泊・レストラン・入浴関係の一連を一か所で管理するシステムである。

A 鈴木副町長

更新するものは、フロント・レストラン業務・

発券機とも連動した総合システムで金銭関係の管理が徹底される。

Q 板垣委員

① 観光地域づくりプロジェクトの滞在型についてどこを対象としているか。

② 留萌南部地域広域観光連携協議会に於ける当町の魅力発信と観光振興とのつながりについて伺う。



A 杉本経済課長

① 観光計画を業者に委託し滞在型について町の施設ばかりではなく、当町に足を運んでくれる商品と魅力を作り上げ、ステップアップをするための委託である。

② 3市町の魅力づくりを協議会で集約し、素材・

パーツはそれぞれの自治体が責任を持ってPRする。今後、当町の魅力を上げる努力をしなければならぬと考えている。

Q 山内委員

① ゆったりかんの運営委託料3千500万円の内容について伺う。

② 観光交流センター委託料550万円の根拠と内容について指定管理が決定した段階で議会にも説明すべきと考えるが。

A 鈴木副町長

① 現状で売上が伸びない状況と人件費の増加や燃料費等のアップにより経費が掛かり非常に厳しい状況であるため3千500万円の予算をお願いしたい。

A 杉本経済課長

② 年度協定の中で収支計画も十分見据えながら適切な委託料で年度協定を結びたいと考えている。